



青森農研フラッシュ

(地独)青森県産業技術センター・農林部門

研究成果

3つの耕種的方法を組み合わせた レタス根腐病対策 — 農薬を使わずに被害を軽減 —

農林総合研究所

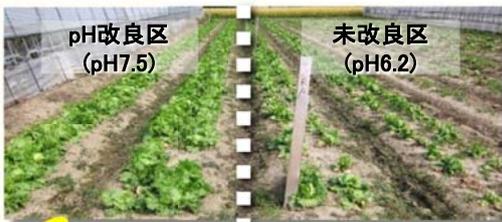
国内のレタス主要産地で重要病害とされているレタス根腐病が、平成21年頃から青森県で確認されるようになりました。

この病害の対策として、①転炉スラグ(石灰質資材の一種)の施用による土壌pH改良 ②品種の耐病性の活用 ③ペーパーポット育苗の利用 という3つの耕種的(生産、栽培)技術を併用することで、**農薬を使わずに効果的に被害を軽減**できることが明らかになったので紹介します。

各耕種的防除方法のポイント

1 転炉スラグの施用

作土30cmの深さまで土壌pHを7.5程度に改良し、根腐病が発生しにくい土壌に改善。



3 ペーパーポット育苗の利用

ペーパーポット育苗により、定植時に苗を取り出す際の根傷みを減らし、感染を抑制。



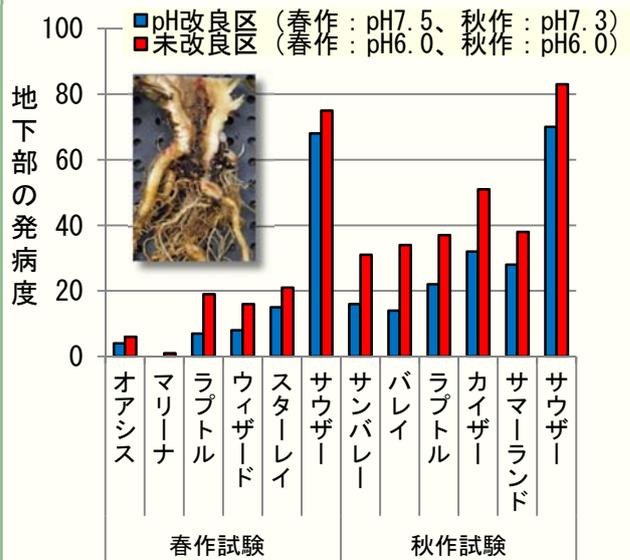
ペーパーポット苗
(根傷みが少ない)



セルトレイ苗
(根傷みしやすい)

2 品種の持つ耐病性を活用

レタス根腐病に耐病性を持つ品種を活用し、土壌pH改良との併用により、さらに被害を軽減。

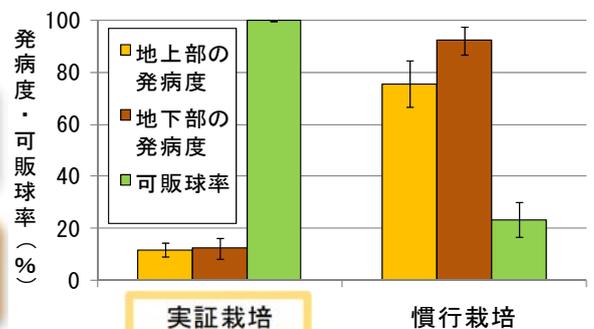


「3つの耕種的方法」併用による被害軽減効果



被害軽減効果が安定して高い

収量が大幅に向上



お問い合わせ 農林総合研究所・病虫部 (TEL0172-52-4314)